

令和2年度第1回倉敷市文化振興審議会議事録（要旨）

会 議 名 称		令和2年度第1回倉敷市文化振興審議会
開 催 日 時		令和2年8月21日(金) 10:00～11:40
開 催 場 所		倉敷市消防局会議室（4階講堂）
出席者 ※敬称略	審議会 委 員	大賀 環子，大原 あかね，尾崎 聡，竹内 京子， 西井 弘人，馬場 始三
	市職員	市長，文化産業局長，文化観光部長，事務局
関係者	関係者	なし
傍聴者	傍聴者	なし
欠席者	審議会 委員	井上 計二
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委嘱状交付 2. 開会 3. 市長挨拶 4. 委員自己紹介 5. 会長・副会長の選任 6. 諮問 7. 会長挨拶 8. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)倉敷市第二次文化振興基本計画の策定について (2)その他 9. 閉会 	

議事要旨

倉敷市第二次文化振興基本計画の策定について

—事務局からの説明—

- ・ 計画概要
 - ・ 現状と課題
 - ・ 主な改正点
- ①倉敷市文化振興基本計画（平成22年度～）で定めた目指す方向について
 - （案1）「5つ」を活かし、より明確な表現を付記する
 - （案2）前計画の取り組みは維持し、「3つ」に統合する
 - ②項目について（新事業の追加）
 - ③目指す方向にSDGsの視点の導入
 - ④目標値の設定

—質疑応答—

会	長	それでは事務局から説明いただきました主な改正点4点について審議をしていきたいと思えます。まず目指す方向について現在の5つを継続するか、或いは、3つに再編するかということでございますが委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思えます。いかがでしょうか。
委	員	5つのものを3つにまとめるということは非常にわかりやすくいいことだと思えます。 しかし、この3つのまとめを見させていただくと、前向きな方向に向いている言葉ばかりで非常に印象としてはいいのですが、説明の中にもありました「文化芸術の創造、発展、継承」というところの「継承」のイメージが少し薄れているような感じがいたします。 説明の中には、「資源を活かした」や「利用した」という言葉がでてくるのですが、建築の分野から言いますと、活かそうにも利用しようにも、倉敷の建築（伝統的な工法）というのは、材料や原材料などの生産も含め、また人材（職人）の面でも、継承が難しくなっている時代に突入していると思えますので、それを踏まえて継承ということを取り上げていただきたいと思えます。 また、伝統的な工法や材料というのは、歴史と地域性を反映した持続可能な材料で作られていますので、持続可能ということも結びつけた取り組みも含めていただければと思っております。
会	長	はい、ありがとうございます。おっしゃるとおりで、伝統を大事にして継承していくところを読み取れる言葉が少し不足していると思われま。
委	員	前計画の5つの方向でもいいとは思いますが、3つの方向とした時、先ほどの発言に更に加えさせていただきますと、やはり「支える」とい

う視点、これを是非入れていただきたいと思います。

特に今回のコロナで、芸術家を文化をどう支えていくか、誰がどう守っていくか、が大きく議論されている。それを経て作られる計画ですので、「文化を誰がどのように支援するか」というところを是非入れていただきたい。

それからこの3つの方向でいった場合に、どうしても文化というもののだけが独り立ちしているような印象を受けてしまいます。

例えば、「文化に親しめる」という言葉。私達が文化というものに親しむではなくて、生活の中にもしも文化が活着ているなら、「文化と親しむ」という言葉になるでしょうし、文化を発信することも、文化だけを発信するのか、まちを発信するときに文化を利用した発信をするのか、そんなところのイメージを作った時に、まちと文化が別物のような印象を受けてしまうのは少し残念かなと思いました。

そのあたりをもう少しご検討いただけたらと思います。以上です。

会 長

はい、ありがとうございます。3つの方向になりまして非常にすっきりした印象でわかりやすいということをおっしゃられた印象ですけれども、やはり言葉から想像する範囲が狭く感じると言いますか、文化とのまちの関係ですとか、市民が主役であってというところが少し見えてこないのかなという印象として受けました。

委 員

もうひとつ、文化芸術というのは色々なものと繋がるということがあると思います。

「まちをひらいていく」、そういった視点もこの3つの中に入れば。

「ひらいていく」「繋がっていく」というイメージがないのが寂しいかなと思いました。

副 会 長

施策体系について、市民が親しむには3つで始まるのがいいかと思えます。頭の中でさっと整理できるのは、5類型までくらいかなと思えますね。

理想としては3つの大きな柱からそれぞれ2つぐらい枝が出ていくように、項目を整理出来ないかな、もうひと工夫していただけないかなと思えます。

会 長

ありがとうございます。他には何かございませんでしょうか。

委 員

基本的には、最初にご発言された方と同じで、言葉的にフレーズがすっと頭の中に入ってくるという点では、いい形で整理されたのかなと思ったのが1つ。

もう1つは、未来に向けた方向性が感じられるような言葉が目標の中に目指す方向として、ニュアンスとしてあったらいいのかなという気はいたしました。

例えば、「文化を発信するまち」というのは、ワンフレーズとしてはいいのですが、先ほどいくつか出てきた重要なフレーズが加わってくると、この3つの言葉がもう少し重みを持つてくるかなと感じております。以上です。

委 員

皆様のご発言のとおり凄くすっきりといい目標になっていると思います。

	私も、例えば前計画にあるいくつかの言葉を加えたり、かっこ書きにするような形で、少し言葉を足した方がいいかなという気もいたします。以上です。
副 会 長	内容というよりか概念ですが、「文化を発信するまち」、これもシンプルでいいと思うんですが、私が日本遺産等の仕事をさせていただいて一番良かったと思うのは、地域間交流が活発になったことです。地域間交流の概念を項目のどこかに入れていただければ、市民もいろいろ得るものも多く、勉強になるかなと思います。
会 長	はい、ありがとうございます。今、委員の皆様のご意見をお伺いし、目指す方向を5つから3つに統合するという、事務局の提案を生かしつつ、その文言については、少し幅を広げたり深めたりということ、伝わるような内容にさせていただくというご意見が多かったのかなと思いますが、その方向でよろしいでしょうか。
事 務 局	今、先生方のお話を伺いいたしまして、目指す方向は5つより3つの方がわかりやすいが、この3つの方向がわりと簡単な言葉になっているので、例えば、「誰もが文化に親しめる」ではなくて「文化が生活にいきづいていくまち」というような、もっと深みのある、倉敷らしいところがわかるような言葉が良いのではないかというご意見だったかと思えます。 もちろん、これまで10年間の中で培ってきたところ、まだまだまだ足りないというところもあると思いますので、そういったところや、またこれからこの10年の計画に期待するところを是非委員の先生方からご意見をいただきまして、厚みをもった方向性に出来ればいいのではないかと思いました。 この貴重な機会に、今の倉敷の文化や色々な情報発信、もしくは世界の中での現状、また過去と未来の繋ぎなどの面でも、ご意見を賜れば大変ありがたく思っております。どうぞよろしくお願い致します。
会 長	ありがとうございました。ただ今のお話にもございましたように、追加いたします文言につきましてもご意見をお伺い出来たらいいなと思っております。ご意見をいただくのは次の機会にしますか。
事 務 局	次の審議会を10月、11月頃予定しています。頂いたご意見を基に事務局案を作成し、審議会前に皆様に見ていただくのがいいでしょうか。
会 長	いかがですか。一度案を流していただいて、それに対するご意見をまたメールなどでやり取りさせていただく方がこ慣れてくるかなと思いますが。
事 務 局	ありがとうございます。是非このキーワードを入れるべきだというものをおっしゃっていただければ助かります。
会 長	先ほどから出ております「継承」ですとか「持続可能」、「支える」、「繋がる」、「未来」、「地域間交流」といった言葉が私の方では覚えているのですが他何かございましたらお伺いします。
委 員	前のご発言にあったように、文化「に」というのを文化「と」という

	<p>ようにすることで、非常に言葉の印象が変わってくることを、今日改めて思わせていただいたんですけれども、前計画にあった「くらしき文化」という言葉を今回外したことは、文化の幅を広げるという意味では良いのではと思う反面、倉敷らしさが欠けてしまっている印象を受けるので、今、会長がまとめて下さった言葉で、他の市とは違う倉敷らしさを発信出来たら一番いいと思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。今後の取り組みや項目のところは、このまま活かされるということですよ。</p>
事 務 局	<p>はい。一部修正があるかもしれませんが、基本的にはこれらの取り組みや項目は引き継いでいくものと考えております。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。項目の中の「国内外のくらしき文化の発信」という言葉を生かしていくという観点もあるかなと思います。他に是非この言葉をというのがありますか。あと「ひらく」という言葉がありましたね。「まちをひらく」。</p> <p>それから SDG s の対応項目はこれでよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>SDG s に関してですが、文化というのは基本全てのゴールを達成するべきものであって、文化のところに項目があがること自体に凄く違和感があります。</p> <p>2015 年の国連サミットで採択されたアジェンダで、「すべての文化文明は持続可能な開発に貢献するばかりでなく、重要な成功への鍵」とされており、文化芸術は全てのゴールを満たす為の重要なものですので、取り残されるゴールがあるのは…</p> <p>いわゆる財団やひとつの企業体として何を指すかといった時に、個別のゴールはあってもいいと思うのですが、特に美術館としては、文化を担うものとしては、文化は全てのゴールを目指す上での礎になると思っています。</p> <p>また倉敷も SDG s 未来都市になったからには、文化は全部のゴールを目指して文化を使いますよと言ってもいいかなと思いました。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>策定趣旨の中で、倉敷市で3つの日本遺産が認められたことに対して、3つの取り組み「国内外への発信を強化」、「観光施設との連携による来訪者の増加」、「産業振興など地方創生につながる取り組み」の必要性をあげられたものが、ブレイクダウンされて目標として出てきているかと理解しております。</p> <p>ICT 分野から国内外の発信の強化という視点を考えた時に、「文化を発信するまち」という大きな言葉に、倉敷らしい文化を発信するやり方というところをフレーズの中により入れていくのか、今後10年というスパンを考えた時にでてくる課題も、具体的な目標として加えていくのか、このあたりのさじ加減が個人的には気になっております。</p> <p>「文化を発信するまち」という言葉の中に広く含まれる課題になるのですが、このままの形で大風呂敷で上げておくのか、もう少しその課題に関してセンシティブに、今後10年取り組む大事な課題として何か重要なキーワードを入れるのかというところ。</p>

	<p>もう1つは、倉敷らしい目標作りということで、他とは違う倉敷市が定めた目指す方向としての適切な表現がないかどうかというところを探ってみる。</p> <p>この2つの部分でもう少しい言葉が出てこないかなというふうに感じております。以上です。</p>
委員	<p>ゴールになってしまうのですがやはり医療のところ、これが抜けているのはもの凄く勿体ないと思っております。倉敷にはたくさんの病院がある中で、文化がどうその医療と連携していったこのまちを活かしていくかというところが出てくると思うのでその視点。</p> <p>それからやはり、文化芸術の部分というのはジェンダーフリーであるところなので、その視点はぎゅっと入れ込んでいただけるとありがたいかなと思います。</p>
委員	<p>今皆様がおっしゃったことについてもっともなご意見だと思ってお聞きしました。倉敷市文化連盟の事業を考えております時に、いろいろ行事がありますが、だいたい中高年がほとんどでありまして、特にこの計画の中で「子ども」という言葉がありますので、これを是非強調していただきたい。「今後伝統文化を守っていくのは若い子どもたちである」そのように思いますので、「子ども」という観点を是非取り上げていただきたいと思います。</p>
委員	<p>まさにそのとおりだと思います。子どもの視点というのは非常に大事で、更に5つの項目のところにもわざわざ書く必要がないから書いていらっしやらないんでしょうけど、若者達、子ども達だけではなく若い人達に対して、どう文化というものを伝えていくか、そこまで書いていただけると。</p> <p>例えば、今回のコロナで移住してくる若者達に対して、倉敷としてどうか、そしてどう受け入れるか、とかそういったところで子どもたちに加えてもうちょっと上の若い人達まで入れていただければと思います。</p>
委員	<p>先ほどのご発言で、年代に関してのご指摘があったのですが、文化芸術活動についてのモニター調査についても、モニターの属性の年代を見て明らかなのが、10代20代から30代にかけてが凄く少なく、40代以上の方がほとんどを占めた調査結果になっております。</p> <p>よって、例えばひとつ、子どものためにいろいろな文化芸術の活動の推進を是非したらいいのではないかという意見が大きく強調されて出てきているのは、モニターの世代的なバイアスがかかっているところがあるかと思えます。</p> <p>併せて、最近のメディア的な戦略でいくと、マーケティング的には若い世代に対してはTikTokをはじめとしたショート動画であったり、インスタグラムといったようなトレンド的なSNSの仕組みを使って伝えていかないと維持出来ないところがあります。その施策の部分が、大きく弱い部分になっているかと思えます。</p> <p>もちろんこれは、先ほど私が言いましたように「文化を発信するまち」というフレーズの中で大きく課題として捉え、ブレイクダウンする中で色々な取り組みをしていくということでもよろしいかと思うので</p>

副 会 長	<p>すが、そこが少し気になっているところとして付け加えさせて下さい。</p> <p>柱（目指す方向）の話にまた戻るのも恐縮なんですけども、子どもの話で、最初見た時に、5本柱のメリットは「よい子いっぱいのもち 倉敷」倉敷のアイデンティティですけれども、子どもが正面にでることが出来る。</p> <p>3本柱だったら、「誰もが」の中に子どもが入っているんでしょうけど、子どもはちょっとやや後ろに隠れてしまうんです。そういったものも大きな論点かなと思いますのでご検討いただければと思います。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。今までのご意見をまとめていただき、9月～10月あたりで案を送付し検討という形でお願いします。</p> <p>それでは次の取り組んでいく項目の修正についてでございます。これにつきましてご意見をお願いしたいと思います。</p>
委 員	<p>取り組む項目というのは非常に整理なさっていてこれを是非かなえていきたいと私も思っています。</p> <p>ただ10年という長い間で、どういう順番でどういう優先順位をつけるか、次の委員会の時にそのあたりを少し教えていただけると。</p> <p>一度に毎年やるとなると逆に薄まってしまわずなので、この10年計画の中でどういう順番でやっていくのかわかりうる状態がありがたいかなと思います。</p> <p>そういった中で、例えば数値目標だと、学校にアーティストを派遣するとか、子どもたちの鑑賞機会というのが、実際倉敷の子どもたちの何パーセントが毎年経験することができて、というような、そういったところが数値目標として、そしてその目標がどう広がっていくかというところがわかるとありがたいと思いました。</p>
会 長	<p>ただ今の件につきましていかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>各課に照会をかけたものが資料になっておりますが、区分のところにあります「継続」「拡充」というところの検証は、再度庁内でさせていただこうと思っております。</p> <p>また、取り組むうえでの優先順位をこの中に示していくことができるかどうか、数値目標をこの中に落としてはどうかということについても、次の庁内の会議の方で入れていくようにしたいと思います。</p> <p>1点確認させていただきたいのが、先ほどSDGsの視点を導入することについて、文化と医療、ジェンダーを入れるべきではないかというご発言があったかと思うのですが、文化が目指すSDGsのゴールは全てだとおっしゃっていたので、目指す方向のところでもよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>基本全てを目指すものだと思います。あえて目指す方向を見た時の感想です。</p> <p>ここにジェンダーが入っていないし医療が入っていないと。医療が入ることこそ倉敷らしさかな、というようなコメントとして思っていたら。</p>
事 務 局	<p>それぞれの柱（目指す方向）には代表的なゴールだけをつけており、「医療」「ジェンダー」もこの中に落とし込むことも出来ますが、先ほ</p>

	<p>どおっしゃっていただいたように、全てがゴールだというような視点でいけば、ここにあえて入れる必要がないのかとも考えられますので、こちらも庁内で検討したいと思います。ありがとうございました。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。よろしく願いいたします。他にご意見がございましたら。</p>
委 員	<p>事業の中で気になったところが、私の分野でもあるのですけれども、近年、メディア及びネット等の色々な仕組みを活用した新たな文化の効果が各地で見られます。</p> <p>例えば最近の出来事を引用しますと、広島が灯籠流しをバーチャルで実現しています。</p> <p>ニュースを見ていると、30～40代の若手のクリエイターが何年前から力を合わせて運営していると。</p> <p>例えば倉敷春宵まつりなどを開催されているところですが、10代20代30代といったようなデジタルネイティブな世代に近いところに対して、より文化の発信をしていこうとした時に、今掲げられてらっしゃる事業の中には、そういったものを強く後押ししていくようなものが少ないというか、この文言の中ではなかなか見てとれないというのは気になっておりました。</p> <p>現状でおこっている観光のDX化であったり、こういったところの取り組みが、文化振興面でも必要になってきているのではないかと考えております。またご検討いただければ幸いです。</p>
副 会 長	<p>施策体系の大きい話に戻って恐縮なんですけれども、前のご発言で子どものことをおっしゃっていて、それが入ってないとやっぱりまずいなという思いがしました。</p> <p>長くなったらいけないかもしれませんが、「誰もが」のところが、例えば子どもから大人までとか、「子ども」という3文字が踊るように、工夫して大きい柱にしてほしいですね。</p> <p>大原さんも本日いらしてますが、倉敷の特色として、幼稚園児や保育園児も美術館に足を運んで写生大会も出来るのですよね。そんなまちはないと思いますので、やはり、「子ども」という3文字が踊るような大柱にして欲しいなと思います。</p>
委 員	<p>見落とししていたら申し訳ないのですが、倉敷には倉敷芸術科学大学と作陽大学と2つの芸術系の大学があります。やはり、この倉敷に2つの芸術大学があるというのは非常に大切なことだと思いますので、その連携ということを具体的にに入れていただいてもいいのかなと思います。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。項目の中の「大学や民間の諸法人との連携」というところですかね。もう少し、</p>
委 員	<p>市立短大も含めて具体的に。</p>
会 長	<p>岡山学院大学もですね、こういったところはもう少し印象づく方が良いのかもしれないですね。ありがとうございます。</p> <p>取り組んでいく項目の修正ということでもよろしいでしょうか。</p> <p>既にSDGsの件に話を進めてしまいましたけれども、改めましてこの</p>

	SDG s の視点を導入することについて、またその導入の仕方についてですか、他の委員様からもご意見を伺えたらと思いますがいかがでしょうか。
副 会 長	先ほど非常に重要なご指摘をなさってですね、背景にはエコロジーがあるのかなと思うんですね。私が若い頃に入ってきた形なのですが、それまではどんどんエネルギーを消費して全部出すような社会だったんですけれども、それを深く反省して、人類全体で取り組むようなことだと思いますけども、人口減少や、地球エネルギーも限られますので、それに取り組むのは、流れとしては間違っていないかなと思うんです。 ただちょっと文化の問題との調整で2, 3 気を付けるべきところを委員さんが指摘されたのかなと思いました。ありがとうございました。
会 長	はい、ありがとうございました。いかがでしょうか。 これは総合計画の方との関連からもきていることかと思うのですが、全体を見渡した中でこの計画についても取り入れるという見方ですね。この3つの目指す方向をこれからまた作っていただく中でSDG s との対応についても改めてまた見直していただくという方向でお願いします。 それでは先ほどご指摘いただいた、目標値の設定についてご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。3つの項目は総合計画のところと重なっているということがございます。分野としては数値目標というものはなかなか難しいというか多いとは思いますが、5つを取り上げている点よろしいでしょうか。 「子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがある人の割合」、「生活の中で文化的活動を行っている人の割合」、「市の主な文化事業の入場者数及び参加者数」、「文化施設利用者数」、「日本遺産の構成文化財訪問者数」ということですが、「市の主な文化事業の入場者数、参加者数」というのは、どのあたりまでの数なんでしょうか、演奏会ですとか展示会そういったものも全部含まれているのでしょうか。
事 務 局	市の主な文化事業の入場者数及び参加者数の指標につきましては、この数字を拾い上げていくベースとなりますのが、文化振興課の場合文化事業の多くを倉敷市文化振興財団に様々な市の文化事業をしていただいております、その文化振興財団が手掛ける文化事業の中で入場者数及び参加者数をカウントすることが可能でございますので、その数値をこの目標値に反映させていくことを考えております。
会 長	はい、ありがとうございます。文化事業ですとか文化施設の利用者数、こういったところではかっていくということにつきましていかがでしょうか。
委 員	先ほどありましたように、それぞれの施設で数字を取って集計したものをを見せていただいたことがあります。特に玉島市民交流センターでは、コロナがあって今は駄目ですが、それまでは目標値の100%ではなくて200%というような数字もたくさん出ておりました。それぞれの事業、或いは行事によって違うと思いますので、一概にこの数値

		を求めるといのもどうかという気はするのですが、一般市民が求めるところと主催者が計画しているのが違う乖離があるという気もいたします。	
会	長	はい、ありがとうございます。玉島市民交流センターのオープンから、当初から非常に入場者数、入館者数がうなぎ上りでしたけども、5年経ったところで200%以上だったんですね。大変素晴らしいことだと思います。 目標値の設定について、この5項目でいくということによろしいでしょうか。この件につきましても、検討していただくということによろしいでしょうか。 これまでで抜けていることはございませんでしょうか。 それでは4つの改正点につきましての審議を終了させていただきます。全体を通じましてご意見ご質問等ございましたらお願いします。	
委	員	この審議会の時間の中では限られた時間ですので、細かな議論までが出来なかったり、課題の掘り起しについて、委員の方で気付いたことをフィードバックが出来なかったんですけども、何かそういったことで細かなことや気が付いたことがあれば、事務局の方へ別途お知らせしてもよろしいでしょうか。	
会	長	そうですね。いかがでしょうか。この会の中では限られたこととなりますので、メール等で。	
事	務	局	はい、ご提案ありがとうございます。事務局といたしましても今おっしゃられたとおりこの2時間弱で細かい点まで議論するのはなかなか困難なことでございますので、今回のこの話し合いの場の後にはお気付きになった点などを今後事務局に個別に、こうしてはどうか、ここはどうかだとかいうことをご提案等していただけますと、今後の案を練り上げる上でも大変有益なものとなりますので、ご協力いただけたら大変ありがたいと存じます。
会	長	はい、ありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。それでは文化振興基本計画の審議につきましては以上とさせていただきます。その他につきまして事務局からご説明をお願いします。	